

水痘(水ぼうそう)ワクチン Chickenpox (Varicella) Vaccine

お子様の安全を守りましょう。
すべてのワクチンを予定通り接種してください。

すべてのワクチンを予定通りに接種することで、
生涯にわたり多くの病気からお子様を守ることができます。

予防接種は過去 50 年間、カナダにおいて他のどの健康対策よりも多くの命を救ってきました。

水痘ワクチンとは何か？

水痘ワクチンは、水痘の原因となるウイルスである水痘帯状疱疹ウイルスを予防します。ワクチンには弱毒化したウイルスが含まれています。カナダ保健省は、このワクチンを承認しています。医療提供者に電話して、予約してください。

誰が水痘ワクチンを接種すべきか？

子供は水痘ワクチンを 2 回接種します。1 回目は、生後 12 か月、2 回目は、4 歳から 6 歳の間に接種してください。麻疹、おたふく風邪、または風疹に対する予防も必要な子供は、2 回目の接種として、麻疹、おたふく風邪、風疹、および水痘混合(MMRV)ワクチンを受けることができます。MMRV ワクチンの詳細については、[ヘルスリンク BC ファイル #14e 麻疹、おたふく風邪、風疹、水痘 \(MMRV\) ワクチン](#) を参照してください。小児は、小児期の他の予防接種と同時にワクチンを接種します。

水痘ワクチン	子供のワクチン接種年齢
1回目接種	生後12か月
2回目接種	4歳から6歳の間

ワクチンを 2 回接種していない小学 6 年生の生徒もワクチンを接種する必要があります。幼少期にワクチンを 2 回接種した小学 6 年生は、それ以上接種する必要はありません。ワクチンを今までに接種したことがない小学 6 年生は、少なくとも 3 か月間をあけて 2 回接種する必要があります。

このワクチンは、予防接種を受けていない 13 歳以上の人を対象に、一連の予防接種として 2 回接種することもできます。2 回目接種は、1 回目接種から 6 週間後に行ってください。

1 歳の誕生日前に水痘を患った場合でも、ワクチンを接種する必要があります。これらの子供は、長期にわたる免疫がない場合があり、水痘を再び患う可能性があります。1 歳以上で水痘または帯状疱疹を患った子供は、次に該当する場合ワクチンを接種する必要はありません。

- 2004 年以前にこの病気を患った、あるいは
- 臨床検査で病気が確認された

全ての予防接種歴を記録することは重要です。

水痘ワクチンによる恩恵は何か？

水痘ワクチンは、水痘とその合併症を防ぐ最善の方法です。お子様がワクチンを接種することで、周りの人を守ることもつながります。

予防接種をしても水痘にかかる場合がありますが、これは稀です。予防接種を受けていない場合よりも、病気の症状はずっと軽くなります。

ワクチン接種後に起こりうる副作用とは？

ワクチンは非常に安全です。水疱瘡にかかるよりも、ワクチンを接種する方がはるかに安全です。

ワクチンによる一般的な副作用には、ワクチン接種箇所の痛み、発赤、腫れなどがあります。軽度の発熱、水痘と似ているが斑点の少ない発疹が、ワクチン接種から約 2 週間後に発生する可能性があります。

ごく稀に、予防接種後に発疹を発症した場合、水痘ワクチンよりウイルスを拡散させる可能性があります。周りの人への感染を防ぐために、水ぶくれが乾き、かさぶたとなるまで発疹を覆いましょう。

発熱や痛みがある場合、アセトアミノフェン(例：タイレノール®)またはイブプロフェン(例：アドビル®)を服用することができます。ASA(例：アスピリン®)は、ライ症候群のリスクがあるため、18歳未満の方は服用しないでください。

ライ症候群の詳細は、[ヘルスリンク BC ファイル #84 ライ症候群](#)を参照ください。

100万人に1人未満の割合と、アナフィラキシーと呼ばれる命に関わるアレルギー反応がでる可能性は非常にまれですが、反応が出た場合に備え、ワクチン接種後15分間は診療所内で待機することが重要です。アナフィラキシー症状には、蕁麻疹、呼吸困難、咽喉、舌、唇の腫れなどがあります。これらの症状が出た場合、医療提供者は治療することができます。緊急治療にはエピネフリン(アドレナリン)の投与と救急車での最寄りの救急科への搬送が含まれます。診療所を去った後に症状が出た場合、**9-1-1**または地域の緊急電話番号にお電話ください。

重度または予期しない副作用が出た場合は常に、医療提供者に報告することが重要です。

水痘ワクチンを接種すべきでない人は誰か？

あなたやお子様下記に当てはまる場合、医療従事者に相談してください：

- 以前、水痘ワクチン、またはネオマイシンやゼラチンを含むワクチンの一部を接種して、生命を脅かす副作用を起こしたことがある
- 病気や治療によって免疫力が低下している
- 過去12か月の間に輸血または他の血液製剤の治療を受けている
- 未治療の活動性結核がある
- 妊娠中あるいは、妊娠を計画している。女性は水痘ワクチン接種後から1か月間は妊娠を避ける必要があります

風邪やその他軽度の病気を理由に予防接種を遅らせる必要はありません。ただし、心配な場合は、医療提供者に相談してください。

水痘とは何か？

水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルスによる感染症です。感染者が咳やくしゃみをする、空気中に容易に広が

ります。この空気を吸い込んだり、汚染された表面に触れたりすると、感染する可能性があります。このウイルスは、感染者の唾液との接触、例えば、食べ物、飲み物、たばこの共有、またはキスをするなどで広がる場合があります。また、水痘や帯状疱疹の水ぶくれを触ることによって感染します。

水疱瘡にかかった子供は、平均350個ものかゆみを伴う赤い水ぶくれを患う可能性があります。新生児、10代の若者、成人、妊婦、免疫力が低下している方の感染はより深刻です。

水痘による合併症には、肺炎(肺感染症)、脳炎(脳の腫れ)、皮膚の細菌感染症などがあります。脳炎は、発作や難聴、脳の損傷につながる可能性があります。成人の約3,000人に1人が感染症で死亡します。

まれに、妊娠初期の感染により、先天性欠損症の乳児が生まれることがあります。これは先天性水痘症候群として知られています。乳児は、低体重、傷跡、手足、目、または脳に障害を抱えて生まれてくる場合があります。水疱瘡により、流産や死産となる場合もあります。

人によって、ウイルスが後年になって再び活性化し、帯状疱疹と呼ばれる痛みを伴う発疹を引き起こすことがあります。水痘の詳細については、[ヘルスリンク BC ファイル #44a 水痘に関する事実](#)を参照してください。帯状疱疹の詳細については、[ヘルスリンク BC ファイル #111 帯状疱疹ワクチン](#)を参照してください。

成熟した未成年者の同意

予防接種の同意について、ご両親または保護者の方とお子様で話し合うことが推奨されています。それぞれのワクチンによる恩恵と起こりうる副作用、および予防接種を受けない場合のリスクが理解できる19歳未満の子供は、法的にワクチン接種に対し、同意あるいは、拒否することができます。成熟した未成年者の同意の詳細については、[ヘルスリンク BC ファイル #119 乳幼児法、成熟した未成年者の同意および予防接種](#)をご確認ください。

予防接種に関する詳細には、予防接種 BC <https://immunizebc.ca> をご覧ください。



BC Centre for Disease Control
Provincial Health Services Authority

ヘルスリンクBCファイルトピックスに関する詳細は、www.HealthLinkBC.ca/more/resources/healthlink-bc-filesをご確認いただくか、最寄りの公衆衛生局へお立ち寄りください。緊急を要しないBC州における健康情報および助言については、www.HealthLinkBC.ca をご覧くださいか、**8-1-1**(フリーダイヤル)までお電話ください。耳が不自由な方、難聴の方は、**7-1-1**までお電話ください。ご希望により、130以上の言語で翻訳サービスがご利用いただけます。